

可也校区まちづくり計画

いとしま共創プラン in かや

平成30年 改訂版



平成30年11月

可也校区振興協議会

可也校区まちづくり推進協議会

目 次

I. はじめに	2
II. 活動経過	3
III. 校区の現状と課題	4
(1) 校区の現状	
(2) まちづくりの課題	
IV. 校区の目指す将来像	7
V. まちづくりの基本方針	8
(1) 人々が健やかに、安全・安心して過ごせるまちづくり	
(2) 自然を大切に、環境に優しいまちづくり	
(3) 人と人とのふれあいを大切に、文化を育むまちづくり	
(4) 地域資源を活かした産業づくり	
VI. 校区まちづくり事業について	9
(1) 実践活動事業	
(2) 施設等整備事業	
VII. 資料編	11
(1) 実施体制組織	
(2) 推進委員会名簿	

I. はじめに

平成22年1月1日に1市2町が合併し、人口10万人の「糸島市」が誕生し、はや8年が経過しました。

私たちの糸島市は、都市部から農漁村部、山間部と様々で自然に恵まれ、しかも文化や伝統においても豊かな地域性があります。それにより課題も様々で、地域の実情にあった解決策が必要となります。これらは行政の力だけでなく、地域住民が力を合わせて、みずから参画し、課題を解決していくことが求められます。

そのため糸島市では、校区毎に、まちづくりを推進していく組織をつくり、住民の手で計画（いとしま共創プラン）を策定し、実践していくことを、新市の重点プロジェクトに位置づけ8年が経過し、当初に掲げた地域課題の中には、すでに解決したものがあ一方で社会情勢等の変化により新たに追加する事案も発生してきました。

可也校区は、筑紫富士と呼ばれる可也山や田園豊かな平野部、白砂青松の弊の浜など、自然環境に恵まれています。また、近所付き合いも良く、人情味あふれるところだと、多くの人を感じていることが、アンケート調査結果にも表れています。近年は、福岡市のベットタウンとしての宅地化も進み、新興住宅地が多く見られるようになりました。さらに、従来からの庁舎（市役所志摩支所・福祉施設等々）等に加え、大型量販店の進出や、高速バスの発着などによる利便性も高まっています。しかし反面、高齢化が進み、通院や買い物など、日常的な不便を感じたり、環境美化に対する意識（マナー・モラル）が課題として指摘されています。

これから、どのような校区づくりを進めていけばよいか、8年を経過した、この「いとしま共創プラン in かや」の検証を校区区長会で行い、今の社会に合った改訂版を策定しました。

今後、この計画の改訂版に基づき、具体的なまちづくり計画を立て、皆さんと共に積極的な活動を進めて行きたいと考えます。

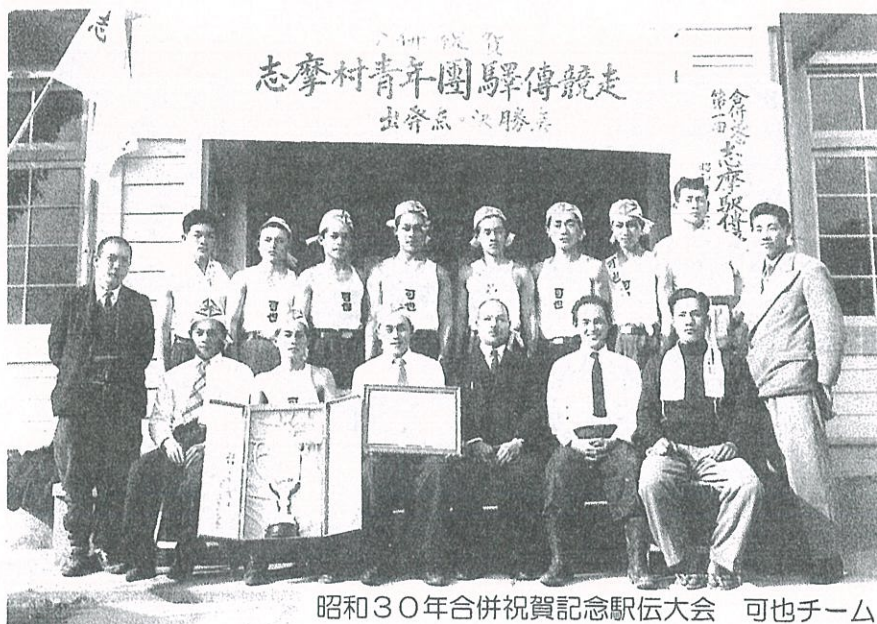
平成30年11月
可也校区振興協議会



糸島半島と可也山

II. 活動経過

平成22年	11月	振興協議会にて推進委員会発足	
平成23年	3月	まちづくりアンケート実施	
	5月	“いとしま共創プラン in かや” 策定	
平成24年	8月	子どもの登下校時の安全安心活動（安全安心委員会）	
	8月	自然を大切に環境に優しいまちづくり事業（環境自然委員会）	
	8月	ふれあいあいさつ運動（ふれあい文化委員会）	
	8月	活動備品保管倉庫設置工事（施設等整備委員会）	
	8月	通学路カラー塗装工事（施設等整備委員会）	
	8月	志摩中央公園円形花壇整備花いっぱい運動（環境自然委員会）	
	8月	ホテル舞う里づくり活動（環境自然委員会）	
	9月	そば栽培普及促進事業（地域自然委員会）	
	平成25年	8月	志摩中央公園円形花壇整備花いっぱい運動（環境自然委員会）
		7月	催事用備品・音響備品購入（ふれあい文化委員会）
8月		自主防災活動用発電機購入（施設等整備委員会）	
平成26年	9月	そば栽培普及促進事業（地域自然委員会）	
	8月	志摩中央公園円形花壇整備花いっぱい運動（環境自然委員会）	
	7月	自主防災活動用備品購入（ふれあい文化委員会）	
平成27年	9月	そば栽培普及促進事業（地域自然委員会）	
	8月	志摩中央公園円形花壇整備花いっぱい運動（環境自然委員会）	
	9月	休耕地活用による景観創出地域事業（地域自然委員会）	
平成28年	12月	ふれあいコンサート開催（ふれあい文化委員会）	
	8月	志摩中央公園円形花壇整備花いっぱい運動（環境自然委員会）	
	9月	文化祭用備品購入（ふれあい文化委員会）	
平成29年	10月	ふれあいコンサート開催（ふれあい文化委員会）	
	8月	志摩中央公園円形花壇整備花いっぱい運動（環境自然委員会）	
	10月	拡大コピー機購入（ふれあい文化委員会）	
平成30年	10月	ふれあいコンサート開催（ふれあい文化委員会）	
	8月	志摩中央公園円形花壇整備花いっぱい運動（環境自然委員会）	
	10月	“音民館” 野外コンサート開催（ふれあい文化委員会）	
	11月	ふれあいコンサート開催（ふれあい文化委員会）	
	12月	食品焼成用石窯制作（ふれあい文化委員会）	



昭和30年合併祝賀記念駅伝大会 可也チーム

Ⅲ. 校区の現状と課題

(1) 校区の現状

①環境

可也という地名は「草枕 旅を苦しむ恋ひおれば 可也の山辺にさお雄お鹿鳴くも」と詠われた万葉集の中にも出てきています。

可也山（365m）や火山（244m）は、史跡や文化財も多くハイキングコースとしても快適で、山頂からの展望はまた素晴らしいものがあります。また、桜の季節は中央公園から旧市役所志摩庁舎にかけての桜並木は見応え一杯です。さらに、最近では里山づくりの取り組みの成果が出て、時期にはホテルが乱舞する川辺が多くなり、初夏の風物詩になりつつあります。

②人口

世帯数は 3,390 世帯、人口は 8,781 人で、志摩地区の人口の約 50%を占めています。また、農村部と住居地区間の格差はあるが、糸島市の平均的な人口構成と似通っています。尚、年々増加していた人口が、平成 21 年をピークに減少しはじめています。

◆可也校区の人口と世帯数（平成 30 年 9 月 1 日現在）

行政区	人口(人)	世帯(世帯)	平均世帯 人員(人)	年少人口 (人)20歳未満	年少人口 比率(%)	高齢人口(人) 65才以上	高齢人口 比率(%)
稲留	538	194	2.77	102	19.0	141	26.2
新開	241	99	2.43	51	21.2	65	27.0
吉田	392	139	2.82	75	19.1	143	36.5
井田原	431	163	2.64	67	15.5	150	34.8
松隈	335	118	2.84	63	18.8	105	31.3
馬場	224	99	2.26	26	11.6	86	38.4
津和崎	186	62	3.00	33	17.7	57	30.6
初	577	211	2.73	115	19.9	174	30.2
初団地	143	52	2.75	58	40.6	17	11.9
富士見ヶ丘	357	141	2.53	77	21.6	86	24.1
ひかりが丘	492	177	2.78	83	16.9	94	19.1
師吉	1,533	589	2.60	287	18.7	437	28.5
師吉団地	341	145	2.21	51	15.0	131	38.4
大浦台	270	116	2.33	31	11.5	121	44.8
大石	581	252	2.31	77	13.3	186	32.0
稲葉	706	313	2.26	76	10.8	251	35.6
薫る坂	560	181	3.09	196	35.0	74	13.2
親山	109	42	2.60	16	14.7	40	36.7
大塚	97	31	3.13	10	10.3	37	38.1
小金丸西	664	266	2.50	112	16.9	204	30.7
計	8,781	3,390	2.59	1,606	18.3	2,599	29.6
糸島市計	101,464	36,888	2.72	18,937	18.7	28,824	28.4

◆可也校区の人口と世帯数の推移 (住民基本台帳各年4月1日現在)

区分	昭和61年	平成 3年	平成 8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	平成29年	平成30年
世帯数	1,304	1,698	2,183	2,413	2,764	3,135	3,328	3,347	3,421
人口	5,329	6,514	8,116	8,470	8,797	9,033	8,806	8,734	8,761

③産業

古くから農村地帯として、水稻を中心に、野菜・果樹・花卉・葉たばこ等々の栽培が盛んに行われています。収穫された、新鮮で安全安心な農作物は、地元の産直市や朝市等でも販売されています。

最近では、ほ場の基盤整備もほぼ終了し自然環境の保全にも大きな役割を果たしていますが、反面には、若者の農業離れなど後継者不足等の深刻な課題も抱えているのが現状です。

④施設

校区内には、公共施設や医療・金融・店舗等々が十分とは言えないまでも、一定の部分整っています。また、交通機関は路線バスやコミュニティーバス・買い物バスが運行されています。ただ高齢者や一部の地域の住民にとっては、通院や買い物など日常生活行動において、不便性を感じていることも事実です。

⑤行事

可也校区では、他の校区に比べて校区全体での行事は少なく、夏祭りや運動会などは行政区毎に独自の企画・運営で実施していることは高く評価できるものと思います。今後もこの特性を生かしながら、地域コミュニティーの輪を深めていくと共に、新たなニーズや社会的な課題にむけては、校区全体で新しいイベントを創造し取り組みを展開していくことも必要となります。

⑥防犯・防災

児童・生徒の通学路については、PTAや青少協等で定期的に危険箇所等の巡回点検が実施されています。結果については、関係機関への連絡・要請において、補修整備がなされ安全確保に努めています。ただ、全体的には街灯の不足や照度が低かったりと課題もあります。安全マップ等を作成・配布し、更なる安全・安心まちづくりが必要でしょう。

また、自然災害等に対する防災体制は今後の大きな課題だと考えます。市当局との連携・協議の基に、自主防災体制づくりの確立化が必要だと考えます。

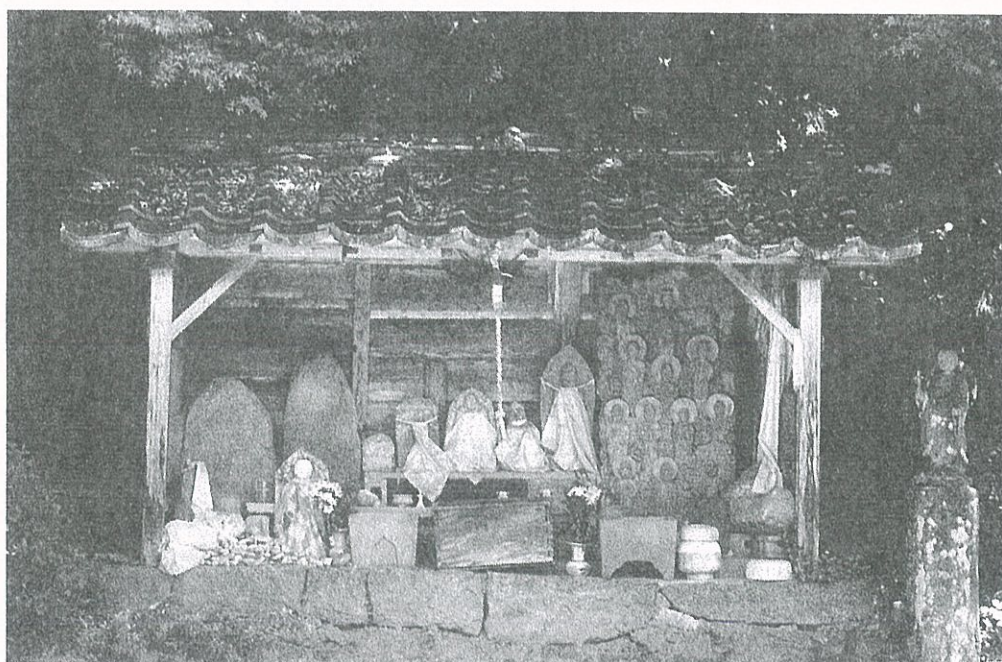
(2) まちづくりの課題

- ① 可也校区内中心部には運動ができる公共施設として2つの体育館と中央公園、テニスコートがあり、志摩地域のイベントにも利用されていますが、各種スポーツを多目的に利用できる総合運動公園としての需要が高まっています。

また、農業を中心とした田畑・山・河川・用水路に隣接している居住区では、沿道、歩道の柵設置や外灯増設を要望する声も数多く出されています。

- ② 志摩地区には豊かな自然を求めて多くの方が訪れています。特に可也校区の名の由来となり「糸島富士」とも呼ばれる可也山は、地域住民のみならず福岡方面と唐津方面を行き来する人にとっても、馴染みのあるシンボリックな美しい山です。また火山の瑠璃光寺には、地域で大切に守ってきた名水があります。どちらの山からもすばらしい眺望が楽しめます。しかし、自然環境保全・美化に対する地域住民の意識改革を求められている現状もあり、これからも多くの人に心地よさを提供できるよう、校区全体で取り組む必要があります。
- ③ 可也校区は生活利便性や人情味の豊かさなどで多くの方が住みやすいと回答されていますが、今後、都市化や高齢化の進展により、人と人あるいは地域コミュニティとのつながりが益々重要となってきます。
- ④ 人口減少の傾向が見られ始めていますが、校区内には、可也山や幣の松原、志摩の四季、工房など魅力のある観光地や施設などがあり、県内外から多くの来訪者があります。

今後も多くの来訪者を増やして校区内の産業を今以上に活性化していく必要があります。



火山 瑠璃光寺 地藏堂

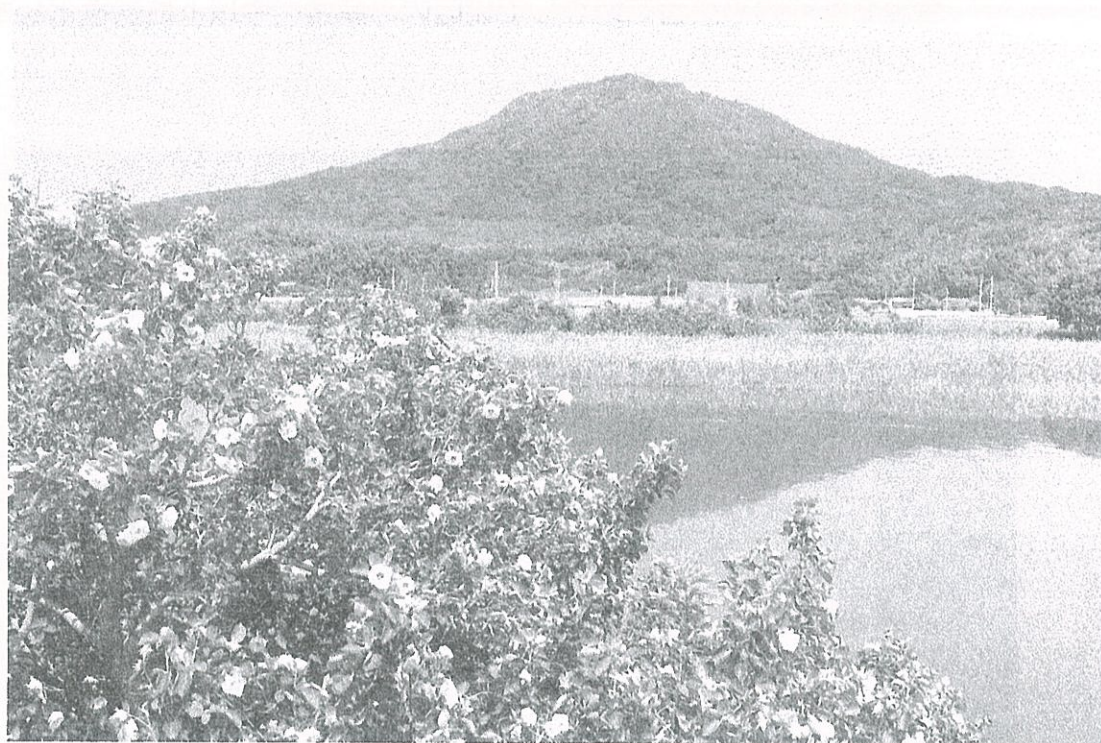
IV. 校区の目指す将来像

【スローガン】

しぜん いろど ゆた ひと かがや かや
自然の彩り豊かな 人が輝くまち 可也

【可也校区の将来イメージ】

みんなが 健康で安全・安心なまち
ふるさとの自然が 大切にされるまち
ふれあい 助け合いのあるまち
人々が集い 活気溢れるまち



可也山とはまぼう

V. まちづくりの基本方針

(1) 人々が健やかに、安全・安心して過ごせるまちづくり

人々が心も身体も健康で、いつでもどこでもだれでもできるスポーツの普及と施設の充実化を図ります。また、安全に安心して暮らせる沿道・歩道の環境整備と防犯活動を行います。

(2) 自然を大切にし、環境に優しいまちづくり

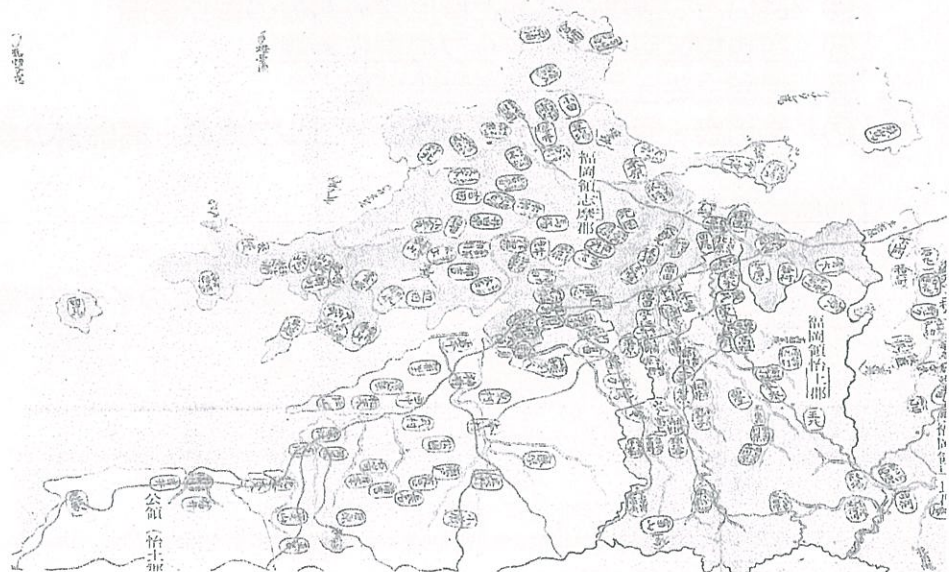
地域住民の多くが「自慢できるもの」に「自然」を挙げています。そんな地域の誇りである豊かで美しい自然を、校区一体となって大切に守り、次世代を担う子どもたちへと引き継いでいきます。さらに、「ここで生まれてよかった。育ててよかった」と思えるような郷土を愛する心を育てます。

(3) 人と人とのふれあいを大切に、文化を育むまちづくり

地域のコミュニティを大切にし、歴史、芸術、文化の薫り高い校区づくりを目指します。また、気軽な挨拶やなにげない気配り運動の展開により、ぬくもりのある校区づくりを推進し、住み続けたい、行ってみたいと思われるように、可也校区の魅力を校区内外に発信します。

(4) 地域資源を活かした産業づくり

校区内から産出される農産物を利用し特産品開発につなげるため、いとしま応援プラザを活用し、加工品開発などのコミュニティビジネスの起業に向けた取組を行います。また、県内外からの交流人口を増やすため、校区内にある志摩の四季、工房、いとしま応援プラザ、九州大学などと連携した事業を検討します。



筑前国絵図 元禄(1688年～)頃

Ⅵ. 校区まちづくり事業について

(1) 実践活動事業

【人々が健やかに、安全・安心して過ごせるまちづくり】

- ① 夜間等の巡回パトロール活動
- ② 子どもの登下校時の見守り活動
- ③ いつでもどこでもだれでもできるスポーツイベントの企画と実践
- ④ 一人暮らし高齢者への見守り活動
- ⑤ 高齢者の生きがいと居場所づくり運動
- ⑥ 校区自主防災組織の実践活動
- ⑦ 安全・安心して暮らせるための防犯等活動
- ⑧ 地域交通安全看板の設置
- ⑨ 交通量増加交差点への信号機設置要望活動
- ⑩ 通学路の安全確保

【自然を大切にし、環境に優しいまちづくり】

- ① 河川・道路などの除草活動や地域の環境美化活動
- ② ゴミや犬の糞の始末などのマナー向上運動
- ③ 花いっぱい運動や植樹の奨励
- ④ ホタルの舞う里づくりの推進
- ⑤ 里山の保全活動
- ⑥ 海岸線や防風林の保全・整備

【人と人とのふれあいを大切に、文化を育むまちづくり】

- ① 祭りなどの伝統文化の伝承活動
- ② 行政区の文化活動の推進事業
- ③ 可也校区まるごと芸術展示場作り
- ④ あいさつ運動の推進とほほ笑い看板の製作事業
- ⑤ 可也校区早わかりマップの製作事業
- ⑥ 地域コミュニティー活性化活動
- ⑦ 文化祭・通学合宿・グラウンドゴルフ大会・高齢者の集い等の活動支援

【地域資源を活かした産業づくり】

- ① 地域の農産物による特産品開発の推進事業
- ② 志摩の四季や、工房、いとしま応援プラザなどとのイベント等の連携事業の検討
- ③ 九州大学との連携事業

(2) 施設等整備事業

【人々が健やかに、安全・安心して過ごせるまちづくり】

- ① 運動公園の拡充と多目的施設の充実化
- ② ウォーキングコースの整備
- ③ 太陽電池付きLED外灯の新設
- ④ 防犯カメラの設置
- ⑤ 体育用具等保管倉庫の設置

【自然を大切にし、環境に優しいまちづくり】

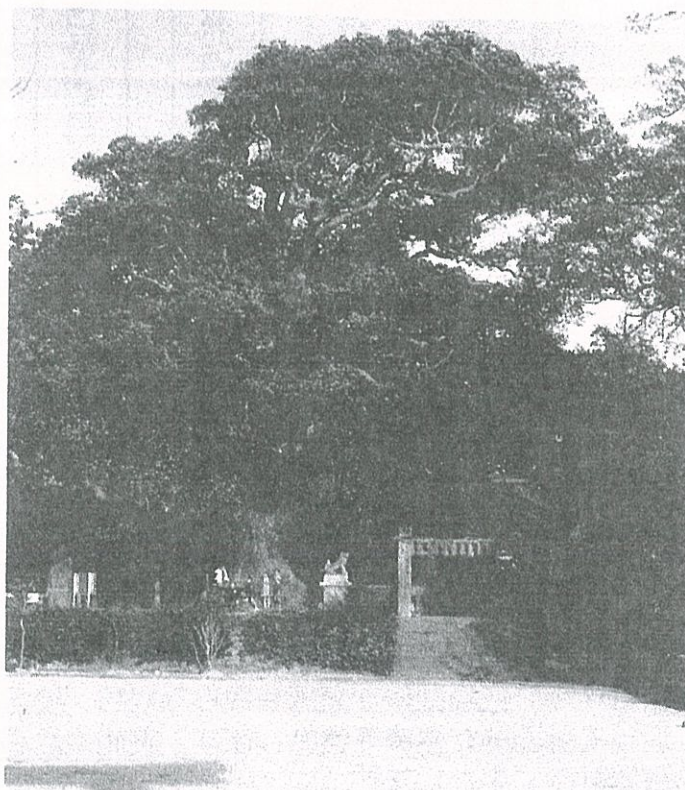
- ① 可也山登山者のための駐車場整備
- ② 休耕田や田畑の有効活用（市民菜園）

【人と人とのふれあいを大切に、文化を育むまちづくり】

- ① 大型ふれあいマップ等整備事業

【地域資源を活かした産業づくり】

- ① 志摩中央公園プロムナードの施設整備

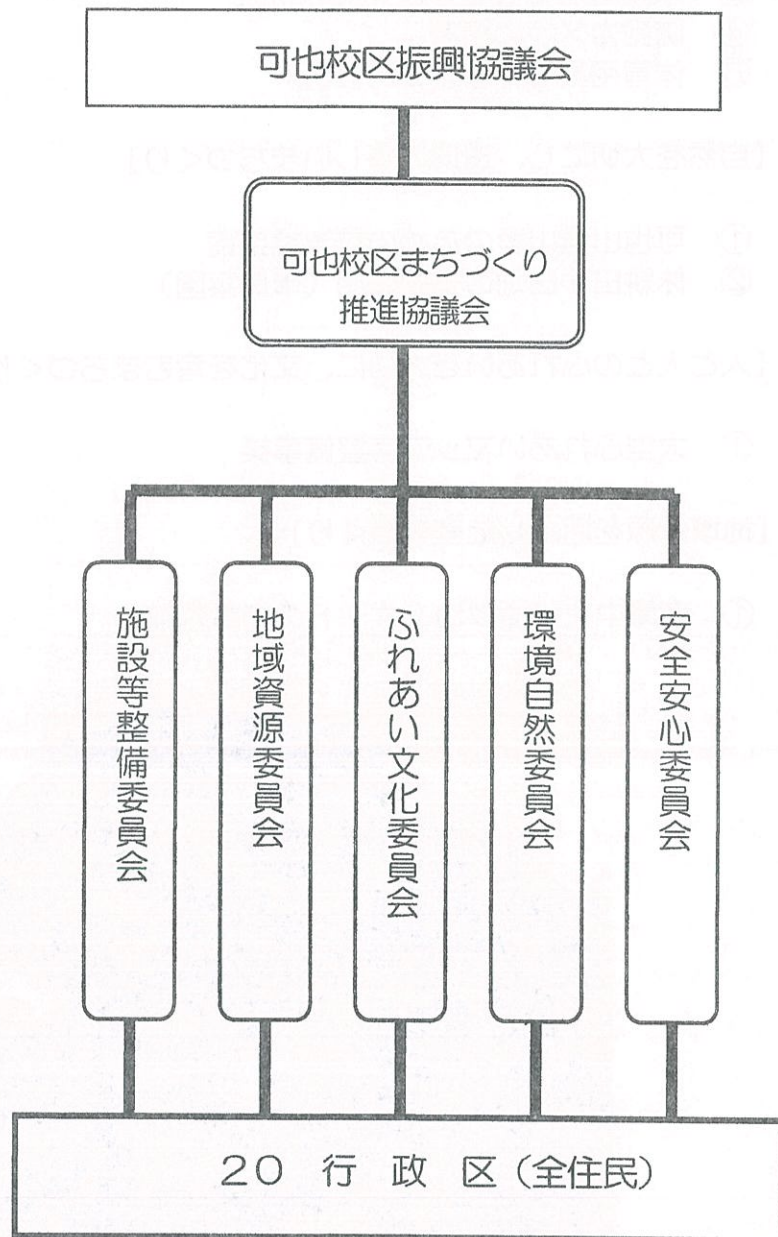


馬場 六所神社の大楠

※計画書内掲載写真は、志摩町史より複写致しました。

Ⅶ. 資料編

(1) 実施体制組織



10年後の校区の将来像（目標）実現のため、可也校区地域振興協議会を中心に各種団体が連携を取りながら、校区全体のスケジュールに沿って計画的に事業を実施します。実施後は事業を評価し、次年度の事業計画に生かします。

各行政区においては、自治組織としての取り組みを行うとともに、校区事業と密接な連携を取りながら事業を進めていきます。